

第1回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成30年5月31日（木）午前10時30分から11時30分
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	片岡、星野、山下、中丸、大平、澤井、本田、白水、藤森、五十嵐（敬称略） 事務局：根本、久保田、服部
議 題	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れについて (2) リハーサルの振り返り（プレゼン資料等） (3) 本年度の活動について 3 意見交換 4 その他、情報共有
議 事	<p>&lt;議事及び報告&gt;</p> <p>(1) 栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れ 事務局から、本日（5/31）のリハーサルを受けて、当日（6/16）のタイムスケジュールや注意点などについて説明した。</p> <p>(2) リハーサルの振り返り リハーサルの振り返りを行い、JISCから、プレゼン資料の中で指摘された事項や追記すべき点などを委員全員で確認し合い、事務局にて修正することを確認した。また、スライドに追加する写真の撮影など委員に協力していただく旨を依頼した。</p> <p>(3) 本年度の活動について 各委員の今年度の活動や分科会の取組に対する意見交換を行った。 （下記の意見交換で集約）</p> <p>&lt;意見交換&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証を取得してから、これまでの5年間、地域の様々な取組のすべてがセーフコミュニティにつながる活動であった。</li> <li>・子どもたちの下校時に通学路の点検をすると、人気全くない道も多くある。登下校の時間帯に玄関先に出るだけでもよいので、地域の方に協力してもらえるとよい。</li> <li>・中学校は下校が一斉の時間帯にならないため、地域の見守りという点では限界がある。地域イベントにボランティアとして参加し、顔を覚えてもらうことは、地域との接点をつくる上でも大事な活動である。</li> <li>・「こども110番の家」は、登録数としては飽和状態にある。今後は認知度をあげたり、活用方法をより効果的な内容にしていくなど、活動の中身を深めていきたい。</li> <li>・地域との顔が見える関係づくりは、どの保育園も積極的に行っている。また、保護者にもセーフコミュニティを細かく伝えていきたい。</li> <li>・子どものスマホのトラブルは、親の責任でもあるため、保護者への教育も必要である。</li> <li>・乳幼児期の事故やけが防止については、保護者への啓発も重要であるが、子どもが、自分の身を自分で守るという意識をもつことも大切である。遊具で遊ぶ経験をきちんとさせることで、今の自分にできる身体の動き、ここまでやるとけがをすることもかもしれないという認識を身につけることができる。</li> </ul>
資 料	1 委員名簿 2 現地審査当日の流れについて（通知） 3 プレゼンテーション資料